



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.1.27 No.4132

第33回定期委員会に集おう

●とき 2月15日(水) 13時から ●ところ 千葉市民会館 特別会議室7

分割・民営化一〇年目の見直し

攻撃との本格的対決の年!

動労千葉第三十三回定期委員会が、二月一五日、千葉市市民会館において開催される。

今定期委員会は、昨年の一二月夕イ改闘争に象徴的にあらわれ開始された、「分割・民営化一〇年目の見直し」攻撃に対する闘いの、その突破口をなす五年闘争の、およそ一年間の戦略的闘いを決定することに最重要課題がある。

水野・中江選挙闘争に起とう!

なによりも今春行なわれる統一地方選挙闘争における、組織内候補―水野勝浦・中江船橋選挙闘争に今定期委員会を期して、全組合員が邁進することを自覚しなければならぬ。この闘いを通して動労千葉の議員団を作り、動労千葉の運動を広く地域に浸透させていくことに、その決定的意義がある。この闘いを通して労働運動の復権を目指す闘いの一方の柱が確立されることを認識し、全力で立ちあがろうではないか!

正念場を迎える清算事業団闘争

国鉄清算事業団闘争を巡る状況も、「分割・民営化一〇年目

の見直し」攻撃の重要な柱として、闘いの帰趨を左右する状況を迎えている。

昨年一二月二四日の、国労と清算事業団の「二〇二億損賠訴訟」の「合意」は、自民党・亀井運輸相の画策によって、その「見直し」に向かつて動き出していることを如実に示している。この踏み込みは、国労を体制へと取り込み、闘争の解体へと先鞭をつけ、「JR体制」の枠組みを根底から揺さ振るものとしてある。

ゆえに九五年こそ清算事業団闘争にとって勝負の年となることは必定と言わざるを得ない。全員の解雇撤回へ向け、さらに闘いを強化しよう!

戦後五〇年攻撃との対決の年!

また、九五年は戦後五〇年問題との決定的闘いを不可避としている。憲法改悪攻撃を柱として、戦後五〇年、沖縄戦五〇年、戦争責任問題、「ヒロシマ・ナガサキ」五〇年と攻撃の激化は必至と言える。とりわけ八・一五を頂点にした攻防となる。われわれは真に闘う反戦・平和の闘いを全国の仲間と共に対峙し、この攻撃と対決しなければならぬ。

全組合員は、二月一五日、第三十三回定期委員会に結集しよう。

兵庫具南部地震で被災した支援の仲間への救援カンパを訴えます!

一月一七日に発生した兵庫県南部地震で、関西実行委員会に結集し、われわれ動労千葉の闘いを物心両面にわたって二〇年間も支援し続けてくれた多くの仲間たちが被災されました。

まだ全容が明らかにならなかったわけではありませんが、五〇〇〇人を超える死者が発生する中で、多くの支援の仲間が家を失い、着のみ着のままの避難生活をされており、今後の生活のメドも立たない状況にあります。

まことに心痛むと同時に、今こそ日頃の友情と支援に依る救援の取り組みを全力で取り組まなければならないと思えます。

全組合員に、熱烈なカンパを訴えます。

一九九五年一月二五日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋